

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科		
科目名称	調理学実習						授業形態		実習	
科目コード	297608	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	石田 慶子								ICT活 用	
授業概要	この授業の目的は、調理学で学んだ調理の意義、様々な食品の調理性や調理法を理解し、それらを調理に反映できるようになること、また調理における衛生管理や器具の使い方を実習を通して理解し身につけることです。 授業では、基礎技術を向上させ、日常の食事づくりで実践する態度を養い、目的に合った望ましい食事づくりができるように実習します。 管理栄養士としての実務経験を望ましい食事づくりに活かし、献立作成や調理などに反映させる授業を行います。									
関連する科目	「調理学」を履修することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	実習内容については必要に応じて示範を行います。その後、グループで調理を行い料理を喫食し評価します。 12回の授業ではグループでレシピを読み合い、出来上がりをイメージし調理、14回の授業では、グループごとに献立を考え調理します。それぞれ完成後出来上がった料理について発表します。 また授業中に実技試験を行います。 調理する内容については、調理レベルを確認しながら考えていきます。なお食材入手の関係で内容が前後したり、一部変更することもあります。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション・調理の基礎 調理学実習の目的、心構え、実習室の使い方について									
授業計画 【第2回】	丼物を主食・主菜とした献立 丼ものの料理の組み合わせについて									
授業計画 【第3回】	魚を主菜とした献立 煮魚の調理について									
授業計画 【第4回】	味噌汁を主食とした献立 味噌汁の炊飯方法、調味の仕方について									
授業計画 【第5回】	主食・主菜を兼ねた料理を中心とした献立 ルウを使用した料理について									
授業計画 【第6回】	肉を主菜とした献立① 焼く・炒める 薄切り肉の調理について									
授業計画 【第7回】	すしを主食とした献立 すし飯の水加減、合わせ酢の加え方について									
授業計画 【第8回】	小麦粉を主食とした献立 小麦粉の扱い方について									
授業計画 【第9回】	肉を主菜とした献立② 焼く・煮る 挽肉の調理について									
授業計画 【第10回】	外国料理① 中国料理の調味料、調理法について									

授業計画 【第11回】	外国料理② 外国料理の調味料、調理法について どこの国の料理にするかは相談して決める。
授業計画 【第12回】	外国料理③ レシピから出来上がりをイメージし、調理する。
授業計画 【第13回】	郷土料理 料理は相談して決める。
授業計画 【第14回】	日常の食事づくり 自由に食材を選び、副菜や汁物を調理する。
授業計画 【第15回】	行事食 祝い料理について
授業の到達目標	食品の調理性、調理法を理解した上で調理に反映できるようになる。また衛生管理や器具の使い方を身につける。 目的にあった望ましい食事づくりを理解し、調理することができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	・事前に実習内容を示すので、料理の作り方だけでなく、食品の調理性も含めて予習する。(30分程度)
授業時間外学習【復習】	・感想(評価したものも含む)をまとめる。(30分程度) ・再度作ることが望ましい。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	・実技試験については、終了後講評します。
評価方法・基準	1) 授業態度・学習意欲(衛生・目標到達度・料理の評価・感想・課題を含む) 80点 2) 実技試験 20点
テキスト	なし
参考書	必要に応じて図書を紹介します。
備考	フードスペシャリスト資格取得に必要な科目。